

平成 27 年 6 月 1 日

教育学部長 殿

FD 委員会委員長

福田 亘博

平成 26 年度「後期」における「学生による授業評価」及び  
「教員による授業点検シート」に関する報告書

教育学部における組織的な FD 活動の一環として、平成 26 年度前期に「FD 委員会」において、「学生による授業評価」及びこれを受けて「教員による授業点検」を行い、授業改善を行うことを決定・実施し、取りまとめ、大学 HP に公表した。本年度後期においても、前期に引き続き、「学生による授業評価」及び「教員による授業点検シート」を実施し、教員個人レベルの授業改善を行うと同時に、教育学部 FD 委員会に提出することにより、教員個人の授業における問題点等を組織的に把握・取扱うことにした。すなわち、教員個人における授業上の問題点等が教育学部として改善を要すると判断された場合、教員間の授業参観等における評価等を勘案の上、FD 委員会として改善を要請することになっている。

1. 「学生による授業評価」について

学生による授業評価のアンケート項目は、別紙に示すように、1. 学生の受講態度について 3 項目、2. 授業内容について 6 項目、3. 授業の進め方について 4 項目、4. 担当教員について 3 項目、5. その他 2 項目とした。学生による意見を汲み上げるため、「コメント欄」を設けた。学生による授業評価は、後期定期試験終了後に学生がウェブシステムのアンケート項目に回答することにより実施した。

また、学生による授業アンケートでは、授業改善につながる項目について、「充分：4 点、ある程度した：3 点、ある程度しなかった：2 点、しなかった 1 点」とし、総合評価点としてポイント制にした。これは、教育学部では学生による成績評価について「GPA 制度」を導入しているが、教員の「授業における GPA」とも呼べる制度となる。なお、4 点が最高点である。

対象とする授業科目は、後期開講された専任教員による「子どもの食と栄養」、「保育者論」、「体育」、「音楽とあそび」、「数学と生活」、「文学」、「教育心理学」、「理科」、「環境と科学」

の9科目)について実施した。

その結果、学生による授業評価の総合評価点は、これらの9科目について、最低3.07点～最高4.0点の範囲であった。一方、同時に、教員による授業参観を実施している(別途、授業参観報告書として取りまとめている)が、その評価では、4点満点中、「子どもの食と栄養:3.71点」、「保育者論:3.68点」、「健康の科学:4.00点」、「音楽とあそび:3.84点」、「数学と生活:3.56点」、「文学:3.75点」、「教育心理学:3.95点」となっている。なお、「環境と科学」及び「理科」科目は、日程の都合で授業参観者はいなかったため、授業参観による評価は行っていない。このように、学生による授業評価結果と教員による授業参観の評価結果とは若干異なる評価となっている科目が存在するが、全体的に見て改善を要する授業科目は少ないと判断された。なお、「子どもの食と栄養」は、授業内容が専門性が高く1年後期では無理と判断されたことから、2年後期に実施するように変更し、一方3年前期に配置した「食の科学」を「子どもの食と栄養」の基礎科目と位置づけ、1年前期に変更した。

## 2. 「教員による授業点検シート」について

前期に引き続き、学生による授業評価において指摘された点について、教員個人として改善が必要と判断した場合には、「授業点検シート」に記入の上、受講生に改善点を説明の上、次期の授業を実施するようにしている。一方、改善点を記入した上記の「授業点検シート」はFD委員会に提出することとしている。FD委員会では、授業参観等の評価を勘案して、教員個人に改善を求めるか否かを判断材料とするようにしている。

「授業点検シート」は、別紙に示すように「講義科目名」、「授業の方法・工夫」、「成績評価法」や「シラバスに記載した授業計画の達成度」、「学生の学習状況」及び「学生による授業評価」結果から次年度改善すべき点があれば、これについてどのように考え、改善するかを明記するように指示されている。

その結果、各教員が提出した「授業点検シート」では、学生による指摘を真摯に受け止め、評価点が高得点にもかかわらず、学生が指摘した個々のアンケートにまで対応して、幾つかの改善点を示している。いずれの教員も、次学期には、「より充実した授業を行う」ことを宣言している。

以上のように、教育学部は平成26年度スタートし、1年目が終了した。学生にとって、理解しやすく、またより充実した授業を実施するために、「学生による授業評価」及びこれ

を受けた授業改善のための「授業点検シート」による授業改善を行う制度を導入し、実践した。その結果、後期に実施した授業において、いずれも高い総合評価点を得ていることから、満足すべきレベルのものであると判断された。これらのことは、別途報告した教員による授業参観アンケートにおける高い評価点からも裏付けられた。

平成 27 年度以降も「学生による授業評価」の実施及び授業評価結果をうけて、「教員による授業点検シート」の提出を義務付け、教員個人は言うに及ばず、教育学部としてさらなる授業改善に努めることとした。

なお、教育学部では、「学生による授業評価」及び「教員による授業参観」における評価を参考にベストティーチャ賞実施要項にそって最も高い評価を得た教員をベストティーチャー賞受賞者として、学長に推薦する。

以上